

information

学生の「能動的学修」をサポートします!

大学会館2階にラーニングコモンズを設置しました

学生が自主的に学び、知識を創造する場所「ラーニングコモンズ」。

無限大の自由な発想ができる、さまざまな可能性を秘めた空間が埼玉大学にはあります。



埼玉大学の教育の基本は、学生が自ら学んで修める「学修」です。この度、学生の皆さんに「能動的学修」、「複数の学生が自律的に自由な発想・方法で学修」ができる場として、大学会館2階にラーニングコモンズを設置し、12月1日より運用を開始しました。

ラーニングコモンズは、授業、演習、グループ学修、能動的学修(アクティブ・ラーニング)、ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション準備、論文・レポート作成などのほか、事前準備学修・事後展開学修などさまざまな学修用途に利用できます。また、TA(大学院生によるティーチング・アシスタント)による学修相談も受け付けており、経験豊かな先輩からのアドバイスを聞くこともできます。このほか、資料作成などができる作業場としてマルチコピー複合機などを設置したプリントステーションを設けたりと、学生の「能動的学修」をサポートしています。

このように、あらゆる「学修」にも対応できる環境が整備されている埼玉大学の「ラーニングコモンズ」。学生たちがさまざまな可能性を実現していくことを期待しています。



グループワークエリア(3エリア、座席数48、18、18)

グループワークやディスカッションなどに利用できます。

また、TAによる学修相談が受けられ、学生単独による利用も可能です。机や椅子は人数に合わせて自由にレイアウトできます。



ワークショップエリア (座席数30)

プレゼン、講演会、ディスカッション、ディベートなどに利用できます。また、授業や演習でも使用します。完全予約制です。



プリントステーション

課金式マルチコピー複合機2台を常設しており、プリントやコピーを行うことができます。また、作業台としてテーブルも用意しており、レジュメや資料の作成の場として最適な空間となっています。

編集 後記

卷頭特集では2014年4月入学の1年生に、入学してからの自分の変化、成長について訊きました。共通しているのが、高校までは教えたことを覚える勉強、大学は自ら選んで学び修得する勉強、そのためいろいろなことに積極的に取り組む意識・姿勢が育まれたことでした。勉強だけでなく、サークル活動、アルバイトにも意欲的でバランスのとれたキャンパスライフを楽しむ先輩たちが、4月にみなさんを温かく迎えます。

Saidai Concierge vol.20 平成27年1月発行

■ 編集発行 埼玉大学総務課広報室
■ 企画・制作 コスマプリント
■ 問い合わせ先 埼玉大学総務課広報室
〒338-8570 さいたま市桜区下大久保255
TEL 048-858-3932 FAX 048-858-9057
E-mail koho@gr.saitama-u.ac.jp
URL http://www.saitama-u.ac.jp



この冊子に関するご意見やご質問は、
埼玉大学総務課広報室までお寄せください。

Saidai Concierge

http://www.saitama-u.ac.jp/

January 2015

20

ラボ探訪 -Welcome to my laboratory-

教育学部

川端 博子 教授 05

大学院理工学研究科

山納 康准教授 06

英語スキル教育プログラム 07

就職内定学生からのメッセージ 08

埼玉県知事に政策提言 -知事と学生の意見交換会- 09

埼大流 ボランティア活動 10

児童文化研究会 会長 小山田 琢磨さん

日本で、世界で 活躍する埼大生! 11

卒業生紹介 13

活躍する卒業生からのメッセージ

自衛隊 埼玉地方協力本部長

山口 英章氏 14

サークル紹介 -PASSION- ジャグリングサークル Million Tricks

卷頭特集

1年生に訊く ~埼大生になつて想うこと~

Interview to a freshman

埼玉大学



卷頭特集

Interview to a freshman

1年生に訊く ～埼大生になって想うこと～

高校生から大学生へ、その扉を開くと何が見えるのだろう。
希望と不安、好奇心いっぱいが始まったキャンパスライフ。
何を見て、何を感じ、どう過ごしてきたのだろう。
君たちのなかにあるつぼみはほころび始めたか?
1年が経とうとしているいま、見つめ直してみよう。

事実はひとつでも、
真実は見方によって
いくつもある。



教養学部
神田 奈津さん
東京都立三鷹高等学校出身



校のときに読んだ伊坂幸太郎さんの小説に登場していた大学生が、理想の大学生像として私のなかにあります。気持ちが穏やかで、頭の回転が早く、勉強のネタで話しができる。埼大に入学して私の周りの埼大生との姿が重なり、初めて自分の居場所を見つけたような居心地の良さを感じています。

私はいまの時点から公務員志望なのですが、これもその小説の影響です。小説ではそのなかの数人が、世の中の人のためになりたいと公務員を目指します。私も同じ気持ちで公務員になることを目標に勉強を進めています。教養学部に進んだのもその目標があったからですね。文学から芸術論、社会学まで広範な分野を学ぶことができ、マクロからミクロの視点まで養うことができる。それらが公務員という職に活かせると考えたからです。

入学時よりも成長したと思うことは、ものごとを多面的に捉え、考えられるようになったところだと思います。

これまで私はひとつの情報を鵜呑みにしてパニックに陥ったりしていましたが、一瞬立ち止まってちょっと待てよと、違う視点から見つめてみると隠れていたものが現れてくるのです。平面だった考え方方が立体になった感じですね。

サークルはソフトボール同好会と文化系サークル2つ、トリプルサークルで楽しんでいます。高校まで硬式テニス部でかなりハードにやってきたので、大学ではもっと緩やかにいろいろやってみたいと思いました。サークルには他学部からも学生が集まりますから、学部や年齢を超えた交流が生まれます。さまざまな価値観に触れることで私の視野もすごく広くなったと思います。これからも何かに興味をもったらどんどん飛び込んでみる、調べてみるというフットワークの軽さで大学生活を充実させたいと思っています。



教育学部

教育学部コラボレーション教育専修
越智 さくらさん
埼玉県立大宮高等学校出身

入学数ヵ月で、私の世界観はまったく違うものに変化した。



大の教育学部に絞ったのはコラボレーション教育専修という、他の大学にはない学科があったからです。専門とする教育科目を学ぶだけではなく、子どもの成長に関わる保護者、地域との関わり、つながりの根本を学び、さらに自分自身を深く考えるというちょっと変わった学科です。

現在の授業は、みんなで共通の映像を観たり本を読んで感じたことをディスカッションするもの。グローバルな視点のテーマが主体で、たとえば貧困に苦しみ満足な教育を受けられない子どもたちなど、弱者やマイノリティがテーマになることが多いです。普段の自分の生活のなかでは見ることのない、いや潜在意識のなかで眼をそらしていることを目の当たりにします。さらにスタディツアーという学習会に3つ参加し、そのひとつ「水俣学習会」では2014年8月に水俣を訪れ、実際に水俣病の患者さんと話す機会を得ました。これまでの人生になかったこと、自分の許容範囲を超えた世界の現実が飛び込んできて、それらを頭の中で整理することと自ら消化するのに精一杯の状態が続いていました。

入学してから数ヵ月ですが、私の中身の変化はめざましいものがあると思います。一番大きいのは自分の無知を自覚したこと。これまで、ただ幸せな世界で生きていく自分だけしか知らなかった。世界ではこんなことが起きている、苦しんでいる人たちがいることを知り、私の世界観は拡がりました。それを意識することで普段の生活も変わったと思います。また自分には何ができるのかを考えるようになりました。

将来、どんな職につくにしても、いろんな立場、視点からものごとを考えられ人に関わっていける、知識だけではない体験を大切に人ととの関わりを持てる人物になりたいと強く思っています。





経済学部経済学科 国際プログラム枠
宿本 楽さん
私立城北高等学校出身



経済学部

入 学してから数ヶ月、自分の何が変わったか？の答えは多すぎて語りきれないほどです。まず入学してすぐの劇的変化。いまは国際プログラム枠の「グローバル・タレント・プログラム」のカリキュラムで勉強していますけれど、入学前までそのプログラムを知らずに一般枠で受験していたのです。4月のガイダンスで追加募集のあることを知り、すぐに手続きをして、試験、面接を経て滑り込むことができました。

大学に入ったらできることは何でもトライして、将来まだどんな職に就くか分からなければ、何かの糧になるように頑張ってみようと思めていたので、その第一歩が国際プログラム枠チャレンジでした。サークルは放送研究会と埼大ワールドカップ実行委員会に所属。放送研は埼大のWebラジオの制作です。W杯実行委は、私はまだ2回しか経験していませんが、来年は年に4回開催されるすべての準備・運営に携わりたいと考えており、怠つ暇もない状態になるのは想像しています。学外では週1でアナウンサースクールと茶道にも通っています。アナウンサーは単純に興味があったからダブルスクールで。茶道は中学から続けています。私の家の近で、何か“道”的付く習い事をやらなくてはならなかったためですが、でも最近になって茶道の奥深さを感じられるようになりました。このように学業以外でも東奔西走していると得るものも多い半面、失うものもある。得られたのは人脈や広い世界観、減ったのは睡眠時間でしょうか。本業の勉強がおろそかにならないよう、やりたかったアルバイトはいま控えています。

とにかく飛び込む、その姿勢はこれからも変わりません。やらずに後悔たくないから。来年はフランス希望で留学も考えています。仏語まったくできないんですよ。でも、得意とするコミュニケーション力で何とかします。



未来の自分のために、
できることは何でもトライする。

工学部情報システム工学科
飯山 恵美さん
埼玉県立松山女子高等学校出身



工学部

忙しいけれど、
時間の使いようで
充実のキャンパスライフです。



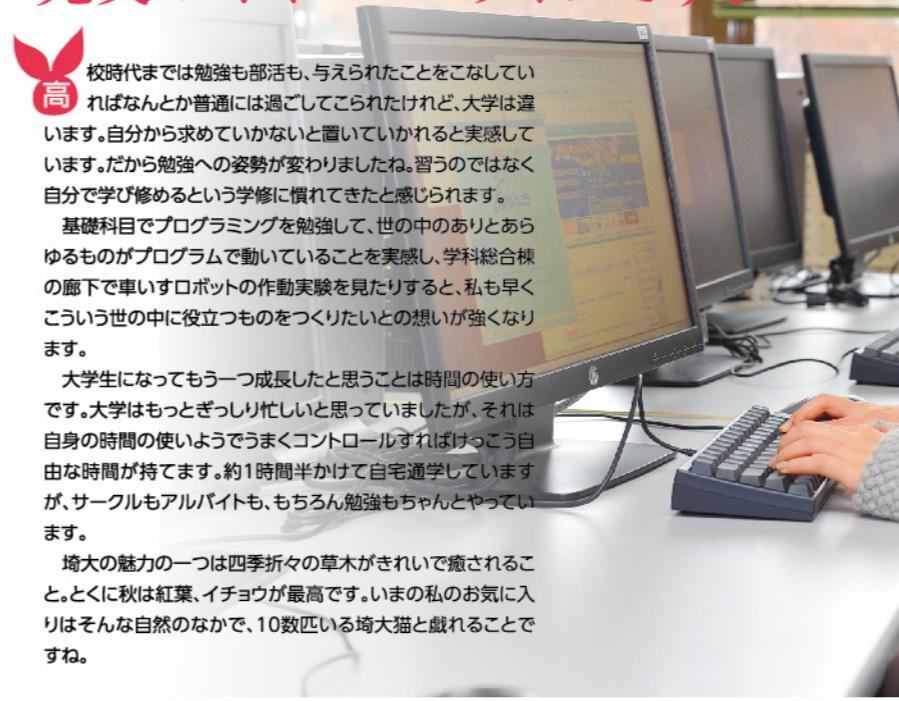
校時代までは勉強も部活も、与えられたことをこなしていました。自分から求めいかないと言っていたけれど、大学は違います。

だから勉強への姿勢が変わりましたね。習うではなく自分で学び修めるという学修に慣れてきたと感じられます。

基礎科目でプログラミングを勉強して、世の中のありとあらゆるものがプログラムで動いていることを実感し、学科総合棟の廊下で車いすロボットの作動実験を見たりすると、私も早くこういう世の中に役立つものをつくりたいとの想いが強くなります。

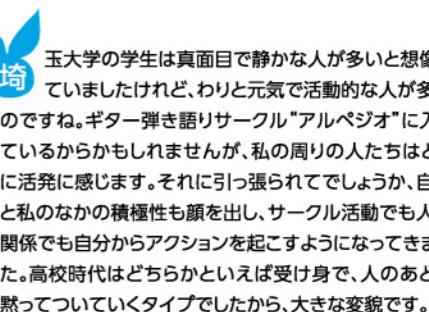
大学生になんでもう一つ成長したと思うことは時間の使い方です。大学はもっとぎっしり忙しいと思っていましたが、それは自身の時間の使いようでうまくコントロールすればけっこ自由な時間が持てます。約1時間半かけて自宅通学していますが、サークルもアルバイトも、もちろん勉強もちゃんとやっていきます。

埼大の魅力の一つは四季折々の草木がきれいに癒されること。とくに秋は紅葉、イチョウが最高です。いまの私のお気に入りはそんな自然のなかで、10数匹いる埼大猫と戯れることができます。



理学部

理学部数学科
小西 悠香さん
栃木県立佐野高等学校出身



埼玉大学の学生は真面目で静かな人が多いと想像していましたけれど、わりと元気で活動的な人が多いのですね。ギター弾き語りサークル“アルペジオ”に入っているからかもしれません、私の周りの人たちはとくに活発に感じます。それに引っ張られてでしょうか、自然と私のなかの積極性も顔を出し、サークル活動でも人間関係でも自分からアクションを起こすようになってきました。高校時代はどうちらかといえば受け身で、人のあとに黙ってついていくタイプでしたから、大きな変貌です。

数学の面白さは解けたときの快感に集約されます。ただし、その過程の道筋が少しでもそれてしまうと解にたどりつけません。少しずつ論理的に正確に突き詰めていきます。高校の数学は定義を出してやるんだと、論理があいまいのまま覚えていたところがありましたけれど、大学ではこんなに細かくきっちり定義して証明するのかと、まさに眼から鱗が落ちる思いでした。いまはまだ大学数学の基礎を固めている段階ですが、ますます数学が面白くなっていく感じです。埼大には数学の有名な先生がいらっしゃいますし、とにかく数学が大好きな学生が集まっています。学年上下の関係なくワイワイ数学の話をしてるだけで楽しいですよ。

ラボ探訪

教育学部／被服学

Welcome to my laboratory



川端 博子 Hiroko Kawabata

教育学部 家政教育講座/大学院教育学研究科 教授

○経歴
1983年 お茶の水女子大学家政学研究科修了
1983~1985年 お茶の水女子大学家政学部 助手
1998年 東京都市立短大講師
2000年 助教授
2002年 8月 埼玉大学教育学部助教授
2004年12月~ 埼玉大学教育学部教授

○所属学会
・日本家政学会・織維学会・日本織維製品消費科学会
・日本衣服学会・日本織機械学会・日本家庭科教育学会

人にやさしい衣生活の実現を求めて

「衣食住」は、人間が生活していく上で基本となる要素です。家政学は生活する「ひと」の視点に立って、どうしたらより良く快適な生活が実現するかを追究する学問です。私はその中の「衣」について、科学的見地から快適性を求める研究に取り組んでいます。

何かをまとうという行為は、太古から人類が生活するうえでの知恵として行われてきました。暑さ寒さをしのぐ、危険から身を守るといった安全・衛生面の目的、着飾る楽しみや個性を演出するツールとして用いられるとともに、今日の科学技術の発達によってさまざまな新機能をもたせて衣服は進化し続けています。

私たちはいま、365日衣服を身に着けることが当たり前の世界に生きています。社会生活を送る上で、どのような条件下でも、身体の不自由な方を含めすべての人が快適で楽しめる衣生活を送るようにしたい。これが私の願いであります。追い求めてやまない研究テーマになっています。



着心地を計測する。

埼大生に私が育てられた。

家政学の実験では、精密機器を利用して、例えば電子顕微鏡などを拡大して見る、センサーで計測したり、化学分析をしたりすることもあります。研究室で揃えきれない機器は時には学部の他の講座や理・工学部の研究室のお世話になります。研究を通して他の専門分野とのつながりがもてるのは総合大学の良さですね。ただ、詳細にデータを計測しても人間の感覚の方がセンサーに勝ると感じることがありますね。実験データと人間の感覚の両方に大切にしています。

「衣生活」を科学的に解明すること
衣服の快適性は、「運動機能性」、「温熱的快適性」、「肌触りの良さ」の3つの要因になります。運動機能性は、衣服を着たときの身体に感じる圧迫感の有無や強弱、動きやすさのこと。温熱的快適性は、衣服素材の保温性や吸湿性の高低。肌触りの良さは、肌に触れている部分が心地よいかを意味します。私の研究室では、例えば織維メーカーから生地・衣服のサンプルを預かり、着用条件をコントロールして評価を行います。そして得られたデータをメーカーにフィードバックすることでより快適性の高い衣服づくりに協力しています。

最近は、ユニバーサルデザインの観点から乳がん術後の衣生活に着目した研究を他大学やメーカーの協力を得ながら行っています。体験者の話を聞いてさまざまな不都合を感じておられることを知り、治療中も含め快復後のQOL¹⁾の向上に被服学が果たす役割があると考えています。現在、抗がん剤の副作用で脱毛した患者が装着する医療用ウイッグ(かつら)の研究に着手しています。衣服の快適性評価に用いてきた手法を応用して、ウイッグの着用性能を調べる実験に取り組んでいます。

まだまだ私の知らない衣生活上の不都合や工夫すべきところがたくさんあります。これからも「より多くの人にやさしい衣生活を実現する」を求めて、知恵を絞って研究を進めていきたいと思っています。



教員になっても、会社に勤めても、社会の中で役立つ学びを。

私のゼミに限らず、教育学部では卒論指導に力を入れています。勿論、教育に関する内容も扱いますが、教育をテーマに選ばなくてはならないということはありません。指導するのは、モノの考え方や考え方そしてまとめ方などです。社会に出た卒業生が研究室に遊びに来て「卒論で研究したことありますごく立っていました」と報告があると、涙がでるほど嬉しいですね。

工学部／電気電子制御

Welcome to my laboratory



山納 康 Yasushi Yamanou

大学院理工学研究科 数理電子情報部門 准教授

○経歴
・1994年 名古屋工業大学 電気情報工学科 卒業
・1996年 名古屋工業大学 博士前期 工学研究科修了
・2000年 名古屋大学 博士後期 修了
・2000年~ 埼玉大学工学部助手を経て現職

○所属学会
・電気学会・IEEE協会



電気を安全に、安心して使うための基盤技術を追求。

雷が落ちると、身近なところではパソコンが壊れたり、停電が起きて交通や日常生活に大きな影響をおぼすことがあります。雷は積乱雲のなかの静電気が積もり積もって高電圧となって一気に地上に放電される現象ですけれど、私たちの身の周りにもさまざまな電気製品があふれ、それらが高電圧に曝されて壊れる(放電やショート)恐れは常にあります。またみなさんはお家で「ヒューズが飛んだ」とか「ブレーカーが落ちた」という言葉を何度か聞いたことがあると思います。これは一般家庭のレベルでも一時に大きな電流が流れ家電などが壊れるのを防ぐために、ヒューズやブレーカーが電気を遮断してくれることです。私が現在取り組んでいるのは、高電圧の放電をいかに通さなくするかの「絶縁」、そしてその延長とも言えますが、万が一高電圧が流れてしまったとき、瞬時に「電気の流れを切る」ヒューズの研究開発です。これらの研究は、一般家庭よりもっと大きな施設や

高度な精密機器の高電圧放電による破壊を防ぐものですが、社会生活において電気を安全に安心して使うための基盤技術であり、電気研究界の王道と言って差し支えないでしょう。

ひとつの着地点はあっても、研究開発に終わりはない。

ヒューズの研究は埼玉大学に赴任してから本格的に始めましたが、非常に奥深く面白い分野だと思っています。

ヒューズと聞いてみなさんが思い浮かべるのは「糸ヒューズ」や「ガラス管ヒューズ」だと思います。それでもあまり目につくところにありませんから、もしかしたらまったく想像外の人もいるかもしれません。私が開発しているのはもっと大きな産業用機械や電気自動車に装着されるものです。ヒューズの電気を遮断する仕組みは、要するに筒の中のものが溶けて電気を通さなくなるだけのことなのですが、中に入れるものの形を変えたり、組み合わせを変えたりして、実験と検証を重ねてベストを追求していきます。実験の準備段階に時間がかかる割に、実験は一瞬で終わります。しかも成功か失敗かハッキリしている。成功は電気がスッパッと切れて何も起こらない状態です。失敗の場合は何かが起ころ。

いま産学共同で進めている電気自動車のヒューズは実験段階で開発中なのですが、ヒューズの電気遮断のメカニズムはまだまだ研究の余地が残っています。要求は常に高度になってきますし、もっと追究し克服してゆくためにも私の研究に終わりはありません。

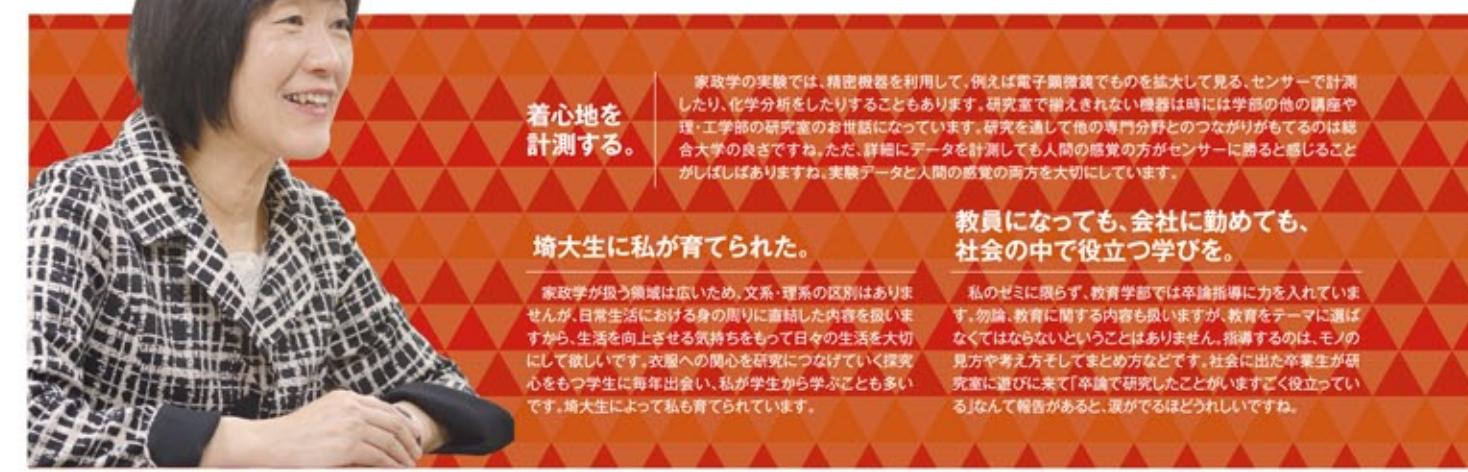


地道な粘り強さと観察力が研究者の基本

例えば放電現象はコンマ何秒の一瞬のできごとです。しかも確率的なもので実験でも必ず起きるとは限りません。一瞬を見逃さない、もし見えなくても音がしたり臭いがしたり何かの現象がありますから、五感を研ぎ澄まして観察することが大切です。加えて完成や成功は何千回もの実験の失敗のうちに成り立つものです。どの分野においても研究者に粘り強さは必要不可欠ですね。

ヒューズの筒のなかはセラミックスの板と海の砂

肝心なのはセラミックス板に施す加工です。さまざまなパターンの肉眼では見分けがつかないような筋を入れ、その上に銅メッキをします。その形状やパターンをそれぞれ何千通り変えて実験します。筒の中に詰めるのは珪砂(けいしゃ)といって海岸にある砂を細かくしたもので、いまはこれがベストと思い使っていますが、ひょっとしたら違う素材のほうが良いかもしれません。こうやって次々ベストを求めて探求していくのです。





英語スキル教育プログラム

世界に開かれた大学として、グローバルに活躍する人材を育成します。

グローバル社会で活躍できる人材を育成することは、埼玉大学の大きな目標のひとつです。国際的な環境のなかで力を発揮するためには英語のスキルは必須です。社会的評価に耐える英語スキルを身につけるための「英語スキル教育プログラム」。その最前線、英語教育開発センターで指導するお二人にお話しを伺いました。

どのような授業をされているのでしょうか?

ヴァイ 入学時にTOEICを受験した後、習熟度別クラス編成をします。自分と習熟度が近い学生と一緒にクラスで学ぶことになります。2年生の終わりまでに、さらに2回TOEIC試験を受験して習熟度の伸びを確認しながら、学生のニーズに合わせた授業を設計していきます。全学生が対象で、授業は基本的に英語を使って展開しています。以下がそのラインアップです。

1年生向け

General English Skills (GES)

教科書だけでなくオンラインのリスニング練習を通して英語のスキルをブラッシュアップするとともに、TOEICテストの準備も行います。

2年生向け

Academic English Skills (AES)

批判的思考法を身につけながら、習熟度を高める訓練を通して、アカデミックな英語のスキルを身につけるのが目的です。教科書を使用しますが、教室外でもオンラインで練習ができるようになっています。

TOEICのスコアが高得点の学生向け

Academic Communication Skills (ACS) Academic Essay Writing (AEW)

海外留学を希望する学生や、学内でのグローバルなプログラムに参加する学生をサポートする目的で開講しています。ACSは、留学した後、アカデミックな環境のなかで成功するために必要な、コミュニケーションの戦略やプレゼンテーションのスキルを学びます。AEWでは、学術的なトピックでのライティングの訓練を行い、最終的に学術的小論文を書けるようになります。ACSとAEWの受講者は、海外の留学先に受け入れられるよう、TOEFLやIELTSのテストの準備のための指導も受けます。

学生の興味に応じて、選択科目としてEnglish for Specific Purposes(ESP)を受けることもできます。教員は、自然科学や人文社会科学の科目についてアカデミックな講義をします。学生は内容を理解するだけでなく、授業に積極的に参加していきます。与えられた課題を一つひとつこなしていくながら、最終的に英語でのプレゼンテーションや、レポートの執筆につながっていきます。

また、基礎から英語を学び直したい学生のために、Basic English(BE)という科目も開講しています。



VYE, STACEY LOUISE
(ヴァイ、ステイシー ルイーズ)
准教授



青木 理香 助教

CALLとは どのようなものですか?

青木 Computer Assisted Language Learningの頭文字を取ったのがCALLで、パソコンによる学習支援システムのことです。“call”という動詞と同じつづりなので、「コール」と呼びます。高校生の皆さんが普段受けているような、目の前に先生がいる対面形式の授業とは異なり、学生が自分のパソコンを使って、自分のペースで学習を進めていくものです。埼玉大学では、独自に開発したオリジナルのシステムと教材を使い、全学生を対象にしてCALL授業を展開しています。

レッスンは毎週配信されます。学生は、入学時のTOEICスコアに応じて3段階のレベルに分けられます。各レベルに対応した教材が準備されています。どのレベルでも、写真を見て答える問題、会話を聞いて答える問題、長文を正確に読む問題、文脈に応じて適語を選ぶ問題、語彙力を高めるドリルなど、さまざまな種類の問題が配信されます。学生はただ問題を解くだけでなく、解説を通して理解を深め、聞き取れなかった音声を繰り返し聞くというトレーニングを通して、英語のスキルを高めています。

ヴァイ 埼玉大学のすべての学生を対象に、英語のスキルを高めるための、さまざまなサービスを提供する場所です。平日の午後3時から5時まで開かれ、私のような専任教員と、長期の海外留学から帰ってきた学生、あるいは海外での生活経験のある学生アシスタントが一緒に、英語についてのさまざまな質問に答えています。

また、ERCには多くのDVDや、段階別読本(graded readers)、書籍、海外留学のための資料やテスト対策の参考書が置いてあり、貸し出しています。たとえば、ハリーポッターの本を読んでから、同じ話をDVDで見るといった楽しみ方をする学生もいます。

また、ERCのなかには、エドワース准教授が主宰する演劇のワークショップがあり、演劇の技法を学び、年に一度の「むつめ祭」(学園祭)で公演を行っています。さらに、ハロウィーンやクリスマスなど、季節ごとに、さまざまなイベントを開催しています。

初めて訪れる学生は、最初は恥ずかしそうにしていますが、教員や学生アシスタントのサポートを受けて、次第にリラックスして、コーヒーや紅茶を飲みながらのチャットを楽しむようになります。

今よりもっと英語ができるようになります。留学準備のため英語力を高めたい、と考えている学生には、ERCは素晴らしい機会を与えてくれると思います。埼玉大学に入学したら、ぜひ訪れてください。



はいつも満点に近いです。』と言っています。試験範囲はかなりの量なので、大変な勉強量ですが、この学生が特別というわけではありません。

過去10年間の学生のTOEICのスコアの変化を見ると、全体として習熟度が確実に変化していることが分かりますが、CALLがそこで大きな役割を果たしていることは間違いないと思います。

「英語なんでも相談室」 English Resource Center (ERC)とは どんな場所ですか?

ヴァイ 埼玉大学のすべての学生を対象に、英語のスキルを高めるための、さまざまなサービスを提供する場所です。平日の午後3時から5時まで開かれ、私のような専任教員と、長期の海外留学から帰ってきた学生、あるいは海外での生活経験のある学生アシスタントが一緒に、英語についてのさまざまな質問に答えています。

レッスンは毎週配信されます。学生は、入学時のTOEICスコアに応じて3段階のレベルに分けられます。各レベルに対応した教材が準備されています。どのレベルでも、写真を見て答える問題、会話を聞いて答える問題、長文を正確に読む問題、文脈に応じて適語を選ぶ問題、語彙力を高めるドリルなど、さまざまな種類の問題が配信されます。学生はただ問題を解くだけでなく、解説を通して理解を深め、聞き取れなかった音声を繰り返し聞くというトレーニングを通して、英語のスキルを高めています。

また、ERCには多くのDVDや、段階別読本(graded readers)、書籍、海外留学のための資料やテスト対策の参考書が置いてあり、貸し出しています。たとえば、ハリーポッターの本を読んでから、同じ話をDVDで見るといった楽しみ方をする学生もいます。

また、ERCのなかには、エドワース准教授が主宰する演劇のワークショップがあり、演劇の技法を学び、年に一度の「むつめ祭」(学園祭)で公演を行っています。さらに、ハロウィーンやクリスマスなど、季節ごとに、さまざまなイベントを開催しています。

初めて訪れる学生は、最初は恥ずかしそうにしていますが、教員や学生アシスタントのサポートを受けて、次第にリラックスして、コーヒーや紅茶を飲みながらのチャットを楽しむようになります。

今よりもっと英語ができるようになります。留学準備のため英語力を高めたい、と考えている学生には、ERCは素晴らしい機会を与えてくれると思います。埼玉大学に入学したら、ぜひ訪れてください。

就職内定学生からのメッセージ

埼大という「無地のキャンバス」に、君たちの将来を描きにきて欲しい。



二瓶 雅さん

工学部建設工学科4年
福島県立会津高等学校出身
平成26年度 埼玉県職員採用上級試験
「総合土木」合格

職業として公務員を意識したのは高校の大学進学時に遡ります。土木・建築系を目指していて、卒業後は公務員かなと。それは自分の性格上、職人や技術者より、広い視野で全体的なディレクションをするほうが向いていると自覚していました。地方と国家では、より生活者に近い、実際にそこに住んでいる人たちと近い位置で仕事ができる地方公務員がほしいと選択しました。

地方公務員試験を受ける意思を固めたのは3年生の夏ごろです。そこからは民間企業のかけもちはまったく考えず、わき目もふらず受験対策に打ち込みました。はじめは情報収集、OBや県庁職員を迎えての学科内の説明会に出席し、OBから仕事内容などを聞きして方向性の再確認。3年生の後期に工学部の公務員試験対策講座が開かれていたので受講。自分の時間はひたすら問題集に向かい過去問題を解いて勉

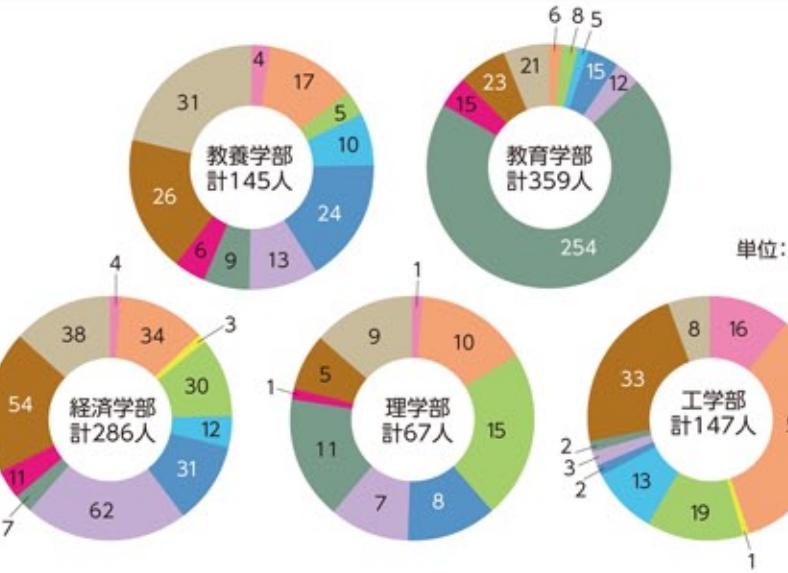
強していました。採用試験の1次筆記は4年生時の6月後半なので、実質約8ヶ月の短期決戦です。試験対策にコツはなく、とにかくシンプルに問題集を解き、間違ったところを見直すの繰り返しが最短距離だと思います。

埼大生の就職先は文理5学部あるので、業種も職種もバラエティに富んでいます。それぞれの進路に向け、さまざまな支援・フォローがあるので利用の仕方によっては大きな後押しになってくれると思います。

埼大の良さを私が表現するなら「無地のキャンバス」ですね。個人の思うように絵を描いていける、一人ひとりの個性を引き出してくれるという意味です。来年度からは埼玉県というキャンバスに何を描いていけるか楽しみです。

平成25年度 業種別就職状況

- 建設業
- 製造業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 情報通信業
- 運輸・郵便業
- 卸売・小売業
- 金融・保険業
- 教育・学習支援業
- 医療・福祉
- 公務員
- その他



平成25年度卒業者の主な就職先

教養学部	教育学部	経済学部	理学部	工学部
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	埼玉県公立高等学校教員	経済産業省関東経済産業局	イオンリテール(株)	曙ブレーキ工業(株)
国土交通省	埼玉県公立小学校教員	埼玉県庁	SMBCフレンド証券(株)	(株)大林組
埼玉県庁	埼玉県公立中学校教員	さいたま市役所	カシオ計算機	鹿島建設(株)
さいたま市役所	埼玉県公立特別支援学校教員	(株)七十七銀行	気象庁	キヤノン(株)
財務省関東財務局	さいたま市公立小学校教員	大和証券(株)	埼玉県公立高等学校教員	埼玉県庁
大正富山医薬品(株)	さいたま市公立中学校教員	東京都特別区	戸田市役所	スズキ(株)
東京都特別区	さいたま市保育士	日本放送協会	(株)日立ソリューションズ	東京都庁
日本郵政グループ	さいたま市役所	東日本旅客鉄道(株) JR東日本	山崎製パン(株)	東日本旅客鉄道(株) JR東日本
東日本旅客鉄道(株) JR東日本	私立幼稚園教員	(株)三菱東京UFJ銀行	リソングループ	横浜市役所
三井住友カード(株)	東京都公立小学校教員	リソングループ	(株)ロッテ	

*企業名等は五十音順。



2014

日本で世界で活躍する埼大生！

Saitama
University
Congratulations!
学生表彰

学術研究や課外活動の場で、埼大生が大活躍しています。埼玉大学に入学して、先輩たちを手本として頑張ってみませんか。



学長を囲んでの記念撮影

所属	氏名	サークル名等	受賞内容等	大会名等	受賞年月日
理工学研究科	田中 尚志	---	博士課程の部門 優秀発表賞	第8回日本ゲノム微生物学会年会	2014.3.25
博士後期課程					
工学部	大塚 美緒子	---	「社会スタディの場」小論文審査 優秀証	公益社団法人私立大学情報教育協会 「社会スタディの場」	2014.3.28
環境共生学科					
経済学部	濱田 康弘	テコンドー・スピリッツ	男子63kg級 優勝	第7回 全日本テコンドー選手権大会	2014.3.2
教育学部	金子 真太郎	相撲部	男子 個人戦の部 第3位	第32回 全国公立大学対抗相撲大会	2014.5.25
工学部	西澤 圭佑	弓道部	弓道の部 男子個人戦 優勝	第63回 関東甲信越大学体育大会	2014.8.22
教育学部	服部 翼	陸上競技部	陸上競技の部 男子100m 第1位	第63回 関東甲信越大学体育大会	2014.8.23
理学部	山田 幸輝	陸上競技部	陸上競技の部 男子5000m 第1位	第63回 関東甲信越大学体育大会	2014.8.23

所属	氏名	サークル名等	受賞内容等	大会名等	受賞年月日
教育学部	渡部 祐喜	陸上競技部	陸上競技の部 男子400m 第1位 男子400mハーフ 第1位	第63回 関東甲信越大学体育大会	2014.8.24
教育学部	鈴木 佑菜	陸上競技部	陸上競技の部 女子400mハーフ 第1位(大会新)	第63回 関東甲信越大学体育大会	2014.8.24
教育学部	山田 大輔	柔道部	柔道の部 男子個人戦 66kg級 優勝	第63回 関東甲信越大学体育大会	2014.8.24
工学部	及川 将秀	柔道部	柔道の部 男子個人戦 73kg級 優勝	第63回 関東甲信越大学体育大会	2014.8.24
教育学部	金子 洋花	柔道部	柔道の部 女子個人戦 52kg級 優勝	第63回 関東甲信越大学体育大会	2014.8.24
教育学部	長澤 葵	柔道部	柔道の部 女子個人戦 57kg級 優勝	第63回 関東甲信越大学体育大会	2014.8.24
教育学部	趙 瞳熙	柔道部	柔道の部 女子個人戦 63kg級 優勝 女子 57kg級 優勝	第63回 関東甲信越大学体育大会 平成26年度 全日本学生柔道体重別選手権大会	2014.9.28
教育学部	喜多 真紀子	柔道部	柔道の部 女子個人戦 70kg級 優勝 女子 70kg級 ベスト8	第63回 関東甲信越大学体育大会 平成26年度 全日本学生柔道体重別選手権大会	2014.9.28
経済学部	弓部 郁実	柔道部	柔道の部 女子個人戦 70kg超級 優勝	第63回 関東甲信越大学体育大会	2014.8.24
教育学部	河又 紀三	水泳部	水泳の部 男子200m背泳ぎ 第1位(大会新)	第63回 関東甲信越大学体育大会	2014.8.26
理学部	児玉 優太	水泳部	水泳の部 男子400m個人メドレー 第1位 男子200m個人メドレー 第1位	第63回 関東甲信越大学体育大会	2014.8.27
	---	相撲部	男子 団体戦 第3位	第32回 全国公立大学対抗相撲大会	2014.5.25
	---	柔道部	準優勝 男子団体戦の部 優勝	第56回 全国国立大学柔道優勝大会 第63回 関東甲信越大学体育大会	2014.7.6 2014.8.24
	---	空手部	空手道防具組手の部 優勝	第63回 関東甲信越大学体育大会	2014.8.31
	---	ダンス部	創作コンクール部門 大学の部 文部科学大臣賞	第27回 全日本高校・大学ダンスフェスティバル	2014.8.9

SEARCH 大塚 美緒子

おおつかみおこ
大塚 美緒子さん

工学部環境共生学科3年
埼玉県立浦和第一女子高等学校出身

公益社団法人私立大学情報教育協会
「社会スタディの場」小論文審査 優秀証

幅広く学ぶ姿勢と心構えを培ってくれた
環境共生学科に感謝。

今回の受賞のきっかけは、受講者数2人の集中講義「情報科教育法」です。講師の玉田和恵先生が「社会スタディの場」への参加を薦めてくださいました。「社会スタディの場」は、「次代を担う若者に社会の発展に向けたイノベーションを取り組むことの重要性を気づかせ、発展的な学びを展開させることを期待して」公益社団法人私立大学情報教育協会によって開催されました。当日は、LINE株式会社代表取締役社長の森川亮氏や株式会社ドワンゴ取締役慶應義塾大学教授夏野剛氏ら有識者の講演がありました。後日、「社会的課題を解決するためにICT(情報通信技術)を活用した将来をイメージして自ら未来を切り拓く取り組みについて」を題に小論文を提出しました。230名の応募に対して事前小論文審査を通過した参加者85名中、報告書の審査で、「未来を切り拓いていく志、目的、意識の高さ」が特に優れていると認められる12名に優秀証が送られました。

私が提出した小論文は、教育学部開講の集中講義「海外フィールドスタディ」でシドニーの大学(UNSW)へ一ヶ月間短期語学研修に留学した経験を題材にしていま

SEARCH テコンドー・スピリッツ

はまだやすひろ
濱田 康弘さん

経済学部社会環境設計学科4年
佐賀県立佐賀西高等学校出身

第7回全日本テコンドー選手権大会
男子63kg級 優勝

韓国の国技として有名なテコンドーは、空手から派生したといわれる武道です。世界の競技人口はサッカーに次ぐといわれるほど各国に普及していて、韓国以外にも国技にしている国があるほどです。

テコンドーに興味をもったのは5歳のとき、たまたま家族で入った飲食店に近くの道場の勧説ボスターが貼ってあり、自分から親に頼んで入れてもらいました。親は風邪をひきやすい軟弱な子を丈夫にするため、自分は単にボスターの姿がかっこよかったという理由でした。小学校時代は楽しくも厳しく稽古に精進し、中高は陸上競技に打ち込み、テコンドーを再開したのは高2のときです。佐賀出身の元日本代表選手が地元に戻り、近くに道場を開いたのでもう一度真剣に取り組もう。その成果として、高3で全日本ジュニアテコンドー選手権男子63kg級優勝を果たしました。

埼大進学は首都圏の国立志望に加え、競技者の多い首都圏で自分のテコンドーを磨きたいという気持ちもありました。入学時、埼大にはテコンドーのサークルも同好会もなく、自分一人でサークルを立ち上げました。いまも部室も道場もなく部員は

THE MESSAGE
FROM
A GRADUATE

活躍する卒業生からの
メッセージ



探訪

自衛隊埼玉地方協力本部長
1等空佐
山口 英章
Hideaki Yamaguchi



自分の技量・能力の向上が、
社会貢献に高いレベルでリンクする。

埼大から自衛隊に入隊するのは
珍しいと思いますが、その経緯は?

パイロットになりたかった!の一念ですね。ただし、そう思ひたつたのは4年生になってからです。埼大在学中にさまざまなアルバイトを経験して、職業について思うことがあったのです。アルバイトではできない仕事はなんだろうと。行きついたのは資格が必要な職業。乗り物が好きだったので、なかでも先端技術の幹を集めた飛行機、動かすためにも高度な技術が必要であろうパイロットを目指そうと思いました。一度は民間会社に就職したのですが、航空自衛隊の一般幹部候補生採用にフライトコースというパイロット養成コースがあると知り、せっかく採用してくれた会社には申し訳ないと思いつつ1年で退職し、採用試験を経て入隊しました。

航空自衛隊のパイロットは
どんな仕事をしているのですか?

一番分かりやすいのは、ブルーインパルスですね。航空ショーや国際的なイベントで会場の上空を6機編隊で飛び、アクロバティックな飛行を見せるあの飛行機です。ただし、ブルーインパルスを操縦できるパイロットは限られていて、本人の希望と組織の要請で選ばれた者が特別な訓練を受けて初めて乗ることができます。全国で6人しかいない狭き門です。私は幸運なことに2007年から3年間ブルーインパルスに搭乗することができました。他のパイロットは、一般の方には普段目につかないところでの仕事になりますので伝えづらい部分もありますが、ひとことで言えば、日本の空の安全を守っています。日本の領空に侵入または

侵入しようとしている、許可を受けていない外国の航空機をレーダーで見つけたときに、近くの基地から戦闘機が発進し、ここから先は来ちゃいけませんと帰つてもらうのです。パイロットは365日24時間(もちろん交替制)基地で待機していて、連絡があれば即座に離陸できるように常に準備しています。発進するのが仕事なのに、発進しないのが一番良い状況という、考えてみるとおかしなものですけれど、こうやってみなさんが安心して暮らせる日本を見守っているのですね。

やりがいや達成感はどんなときに感じますか?

ブルーインパルスに搭乗していると、観客の皆様から手紙をいただきます。「元気をもらった」とか「将来パイロットになりたい」といった言葉をいただくと、本当にうれしいし、パイロットになって良かったと思いました。達成感を一番感じたのは、やはりパイロット資格をとれたとき、パイロットの証であるウイングマークを左胸につけたときですね。その後は節目節目に教育や訓練を経てキャリアアップしていくときに感じてきました。たとえばリーダーとして僚機をもてるようになったとき、インストラクターパイロットになったとき、戦術・戦略をたてられる立場になったときなどです。やりがいとは少し違いますけれど、リーダーになれば部下とフライトしたとき、部下を安全に帰還させる責任を負います。まず危ないと感じる状況になる前に未然に危険を避けるリスクマネジメント力、さらに瞬時に全体を見渡し、本質を把握し判断する能力は経験を重ねるにつれて研ぎ澄まされてきたと感じます。このように自身の技量と能力の向上が社会貢献にリンクしていくため、常にやりがいを感じながら、より高いレベルの実現を目指し日々頑張っています。



ジャグリングを通して、
さまざまな人とつながっていきたい。

circle introduction
サークル紹介
Million Tricks
【ミリオントリックス】

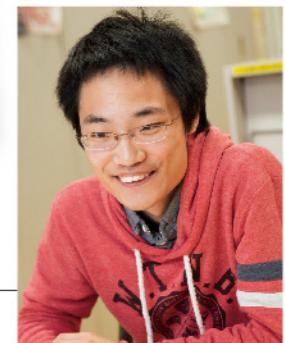


■年間活動

- 4月 新入部員勧誘
- 8月 夏合宿(練習合宿)
- 11月 むつめ祭・ホームカミングデーに出演
- 1月 冬合宿(練習合宿)
- 3月 関東学生ジャグリング大会出場

*1年を通して不定期に月1~2回、小学校や幼稚園、福祉施設などからの依頼を受けて、イベントアトラクションとしてパフォーマンスを披露しています。

中圓尾 陸
Riku Nakamaruo



教育学部 技術専修3年

栃木県立栃木高等学校出身

Q どんな活動をしていますか?

A 練習は週3日の練習日と、追加で不定期にこの日は何時にどこそこいう感じでSNSを通じて集まります。それ以外でも授業の合間や放課後、「ここでやってるから、来ない?」と三々五々集まって練習することが多いです。人数がいなければ練習できないものでもありませんから、ゆるく集まってワイワイ楽しんで遊んでいる感覚です。練習の成果を発表する場は学内では「むつめ祭」「ホームカミングデー」などのイベントで披露、学外は小学校PTAや行政関係からの依頼を受けて、祭りやキャンペーンイベントのアトラクションとして月に1、2回出演しています。

Q ジャグリングの魅力とは?

A 自らがやっていて楽しいのひと言に尽きます。何かを他人と競い合うわけではなく、頭のなかで描いたパフォーマンスを、全身と道具に集中して繰り出していく、決まったときの快感が何とも言えませんですね。その延長線上で観ている人が楽しめて、高度な技やパフォーマンスが決まったとき、すごいと感じてもらえばよりうれしいです。

Q 難しそうに見えますが、誰でもできますか?

A 練習すれば誰でもできるようになります。最初は単純な動かし方も、思っていることと手の動きがバラバラになってうまくいかないのですが、慣れてくれば勝手に手が動いてくれます。それから徐々に手に持つ数を増やしたり複雑な動きを加えていくだけです。難しいといえばどう見せるかですね。人に見せることを前提としていますから技術とともにエンターテインメント性も大切です。演技の合間の話題や演技中の表情、また道具を落してしまっても失敗を感じさせない見せ方などです。ただしこれも、経験を積んで気持ちに余裕が出てくると、だんだんとうまくなっていくものです。

Q ジャグリングを通して得られたことはありますか?

A 人前に出て何かする度胸がつきました。社会に出て人間関係を築く上では必要な要素だと思います。一芸を磨けたことも大きいです。授業の介護体験で特別養護老人ホームを訪問したとき、そこにあつたお手玉を借りてジャグリングをしたら、そこから会話を弾んだということもあります。宴会でも盛り上がりりますね。これから入学してくるみなさんには、とにかく膽せずにいろいろやってみたいと思います。ダブルサークル、トリプルだっていい。できればそのひとつがMillion Tricksだとうれしいですね。